

研究課題名	人間ドックにおける上部消化管内視鏡検査の至適な検査間隔の検討
研究の意義・目的	<p>本研究は、人間ドックで行う上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）について、「どのくらいの間隔で受けるのが適切か」を検討することを目的としています。胃カメラは、胃がんや食道がんを早期に見つけるために重要な検査ですが、すべての方に同じ間隔が最も良いとは限りません。検査の間隔が短すぎると、必要以上の検査になってしまう可能性があります。一方で、間隔が長すぎると、病気の発見が遅れるおそれがあります。</p> <p>そこで本研究では、MedCity21 でこれまでに胃カメラを受けられた方の、過去の検査結果や健診情報（年齢、性別、生活習慣、ピロリ菌に関する情報など）を用いて、検査間隔と、胃がん・食道がんの見つかりやすさおよび、発見時の進行度との関係を調べます。さらに、統計学的方法に加えて、必要に応じて機械学習（AI）を用いた解析も行い、将来的に、個々のリスクに応じた適切な検査間隔の考え方を示すことを目指します。これにより、病気の早期発見につながるとともに、過度な検査を減らし、限られた医療資源を有効に活用することにも役立つと考えています。</p> <p>なお、本研究は、新たに検査や治療を追加して行うものではなく、診療や健診で既に得られている情報を用いて行う後ろ向き研究です。</p> <p>他の機関への提供・委託について</p> <p>本研究で用いる情報は、大阪公立大学および MedCity21 の診療・健診システムから取得し、研究目的のために必要な範囲で整理・解析します。現時点では、本研究で得られた情報や試料を、他の大学・研究機関・企業等へ提供する予定はありません。また、解析業務や検査を外部機関に委託する予定もありません。</p>
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～ 2030 年 3 月
研究協力を お願いしたい方 (対象者)	2014 年 5 月 1 日から 2025 年 12 月 15 日までの間に、大阪公立大学医学部附属病院 先端予防医療部附属クリニック MedCity21 において、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられた、20 歳以上の方が本研究の対象となります。
協力をお願いしたい 内容と研究に使わせて いただく試料・情報等の項目	<p>本研究では、新たに検査や試料の提供をお願いすることはありません。</p> <p>診療や人間ドックの過程で、これまでに得られた下記の情報を、研究目的の範囲内で使用させていただきます。</p> <p>研究に使用する情報</p> <p>診療・健診に関する情報</p> <ul style="list-style-type: none"><li>上部消化管内視鏡時の観察記録、病理組織検査記録、およびその際の状況についての診療録、看護記録</li><li>電子カルテおよび健診システムより取得した当院診療データおよび診療情報提供書を基にした、上部消化管病変に関する情報</li><li>患者基本情報:年齢、性別、現病名、健診および診療で得られた問診情報</li><li>血液検査結果:健診・人間ドック一般血液検査結果</li><li>生理学的検査結果</li></ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>画像検査情報:腹部エコー検査、腹部 CT(内臓・皮下脂肪面積)、胸部 CT 検査、上部消化管内視鏡および造影検査、マンモグラフィー、乳腺エコー検査、頭部 MRI/MRA 検査によって得られた画像および診断情報</li> </ul> <p>健診における機能検査結果これらの情報は、研究用に整理・解析する際に、個人が特定されないよう配慮して取り扱います。</p>
<b>試料・情報を利用する者の範囲 および管理について 責任を有する者の 研究機関の名称</b>	<p>この研究は、大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学/消化器内科学のみで行います。</p> <p>本研究に使用する試料・情報は、本研究に關与する研究者のみが利用し、研究に關与しない第三者が利用することはありません。</p> <p>【研究責任者】 大阪公立大学大学院医学研究科 先端予防医療学 灘谷 祐二</p>
<b>個人情報の取り扱い</b>	<p>この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。</p> <p>この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に關することは含まない形で公表されます。</p>
<b>本研究の 利益相反</b>	<p>本研究の利害關係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。</p> <p>今回の研究は公益社団法人日本人間ドック・予防医療学会からの研究助成を受け実施します。</p>
<b>研究に協力を したくない場合</b>	<p>診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。</p>
<b>連絡先</b>	<p>大阪公立大学医学部附属病院 先端予防医療学 担当者氏名：灘谷 祐二 電話番号：(06) 6645-3945</p>